

01 避難情報と注意点

01 警戒レベルを用いた避難情報

警戒レベル

警戒レベルは、災害に備えて住民がとるべき行動をお知らせするために5段階にレベル分けしたものです。市からの**避難情報等の発令に留意**するとともに、避難情報等が発令されていなくとも**自ら避難の判断**をしてください。警戒レベル5の状況では災害が発生して避難できなくなることから、**警戒レベル3や4の段階で避難**することが重要です。

警戒レベル一覧

令和8年5月～新しくなりました

避難情報等 (警戒レベル)				防災気象情報 (警戒レベル相当情報)		
警戒 レベル	状 況	住民が とるべき行動	避難情報等	警戒 レベル 相当情報	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに 上階へ移動するなど、 その場々できる 命を守る行動を!	緊急安全確保	5 相当	レベル5 大雨 特別警報	レベル5 土砂災害 特別警報
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~						
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4 相当	レベル4 大雨 危険警報	レベル4 土砂災害 危険警報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難 高齢者等には、 障害のある人や妊産婦、 乳幼児も含まれます。	高齢者等避難	3 相当	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害 警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認	大雨・土砂災害 注意報等	2 相当	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害 注意報
1	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1 相当	早期注意情報	

※市は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

# 02 災害の特徴

## 01 風水害について

### 高梁市内で過去に発生した大きな被害

#### ■昭和47年(1972)7月豪雨

降 水 量	376mm (7月9日～13日、高梁観測所)
被害戸数	1600戸以上
被害事例	玉川町玉地区で孤立状態、伯備線の線路流出



▲昭和47年7月豪雨

#### ■平成30年(2018)7月豪雨

降 水 量	338mm (7月5日～7日、高梁観測所) 1時間の最大雨量26mm (7月6日22時、高梁観測所)
死 者	(災害関連死含む) 2名、行方不明者1名、重傷者3名
被害戸数	600戸以上
被害事例	最長12日間にわたって断水、斜面の崩壊や土石流が発生、市内各所で道路の通行規制・通行止が発生



▲平成30年7月豪雨

### 雨の強さと降り方

1時間雨量	10mm以上 20mm未満	20mm以上 30mm未満	30mm以上 50mm未満	50mm以上 80mm未満	80mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の様子	雨音で室内にいても話し声が聞き取りにくくなります。	傘をさしていても濡れるような雨です。車の運転では、ワイパーを速くしても前が見づらい状態です。	バケツをひっくり返したような雨です。雨がたまって道路が川のようになります。	滝のように降る雨で、傘は役に立たなくなります。車の運転は危険な状態です。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨です。大規模な災害が発生するおそれがあり、厳重な警戒が必要です。

### 風水害に対する日頃の備え

